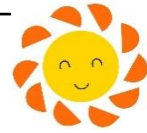


草津市立水生植物公園みずの森観察会

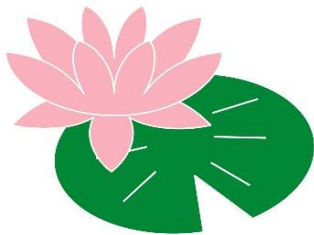
日 時 2023年7月28日（金）晴れ



参 加 者 18人（欠席5人）講座生4人

集合場所・時間 JR草津駅西改札口 9時20分
近江鉄道バス9時39分発に乗車

行 程 植物園入口10時到着
ボランティアガイドと合流し、
午前中、2班に分かれて園内を
案内してもらう。
午後映像ホール上映
展示物鑑賞他。



14時発のバスで帰途に就く
作 成 者 宮澤 文子



とても暑かった一日でしたが、空調の効いた部屋で適度な休息と水分補給で元気に乗り切りました。講座生の皆さんもとても元気。



講座生4人の紹介



午前中の案内ガイド伊吹・小西さん年齢を聞いてびっくり お互いに頑張りましょう!!

草津市の花【ア オ バ ナ】

ツユクサ科の在来種。大きな花びらが特徴
草津市で栽培し続けられてきた貴重な種
ボランティアの方手作りのアオバナ葉を
いただきました。

「青花紙」は青色色素を和紙にしみ込ませ
乾燥させた物。日本の染色文化を支える
貴重な植物素材となっている。



キンメイモウソウ イネ科



2023 みずの森 ～スイレンの香り紹介

みずの森では、約150種類以上のスイレンが咲いています。
スイレンは6月～8月に開花し、今の期間が一番多くの種類を見ることができます。
同じように見えて、いろんな種を持つスイレンの世界を堪能してください。

スイレン水増では、様々な温帯性（耐寒性）スイレンの香りを体験していただけます。





スイレンとハスの違いは？

	スイレン	ハス
葉	<ul style="list-style-type: none"> ・円形横円形で切り込みがある ・通常浮葉のみ ・撥水性がなく穴沢がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・円形で切り込みがない ・浮き葉と立ち葉がある ・撥水性があり穴沢がない
花	<ul style="list-style-type: none"> ・温帯性は水面に咲く ・熱帯性は水面から突き出て咲く ・花が終わると閉じて水中に沈む ・果托ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・水面から高く突き出て咲く ・花が終わると水上で花弁が散る ・果托ができる
根	<ul style="list-style-type: none"> ・温帯性はフサビ形の塊根 ・熱帯性は球根型の塊根 	<ul style="list-style-type: none"> ・地下茎が肥大しレンコンになる





↑はハスの葉・↓は根、レンコン輪切りを模した椅子↑



ハスのつぼみが気に入ったトンボ、さて、あなたは何トンボ??





フッキソウ



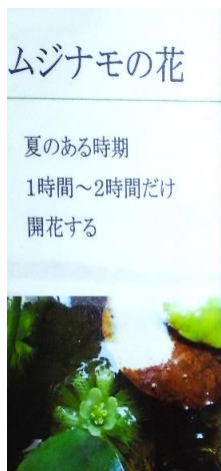
ガガブタとカエル



ヒシ



午前観察終了。 弁当組レストラン組に分かれて昼食タイム。 ハスの葉パウダー入りソフトクリーム↑



花のサイズは5ミリ程度
牧野富太郎が発見した時、
海外では花が咲かない謎の花だった。
日本で開花を発見。牧野富太郎が世界へ発表した。

午後の活動 ロータス館では
映像ホールで記録映画鑑賞。
牧野富太郎博士の功績や発見された植物
展示を見学。ヒツジグサの開花にちょっと
心を残しながら水生植物園みずの森を後に
しました。最後に講座生が感想を短歌に
してくれました。

『水面に美しく咲くハスの花

香り漂い心潤う』

美智子



ハスの葉っぱを帽子にしてハイ、ポーズ!! 重鎮と講座生の皆さん